

平成26年度 中区地域力向上事業 事後評価

■助成事業

事業名	提案者	事業内容	総事業費 [補助額] (円)	採用 回数	公益性	効果	経済性	評価
1 たかおかフェスティバル開催事業	たかおかフェスティバル実行委員会	【期間】5月4日 【場所】高丘中央通り（市道高丘花川線） 【概要】高丘地区のメインストリートでのパレード形式でのイベント（地元小・中学校の演奏、気賀高プラスバンドの演奏、よさこい踊り、九重太鼓、大道芸など） 【参加】約4,275人（出演・観客・関係者）	1,094,999 [273,000]	3	A	A	A	○高丘地区は、若い世代や外国人が多く居住する住宅地で、転出入が多く住民相互の連帯感が希薄になっている。こうした課題を解決するために住民が主体となって実施された事業で、4,000人以上が参加するなど安全・安心な地域づくりに不可欠な、コミュニティ機能の強化が図られたものと認められる。 ○今回は3回目の採用となるが、参加者も着実に増加（H24：3,800人→H26：4,275）して地域のイベントとして定着しつつあり、今後も自主的に開催されることを期待する。
2 浜松「食の安全安心の街」を目指して！	(一社) 浜松市食品衛生協会	【期間】6月15日 【場所】ソラモ 【概要】食品衛生の啓発を目的としたイベント（手洗い教室、かつお土佐造り試食会など） 【参加】約2,700人	1,096,300 [548,000]	1	A	A	B	○浜松市においても給食の食中毒が問題となるなか時宜を得た事業で、手洗い教室などを通じて、食品衛生の啓発が図られたものと認められる。 ○食品衛生は「手洗いに始まり手洗いに終わる」ともいわれ、浜松市のケースにおいても手洗いが不十分であったことが原因の一つとして指摘されている。手洗い教室では、多くの親子連れ等に対し、食品衛生推進員が正しい手洗いの方法を解説し、手洗いの重要性を再認識してもらう機会となった。 ○今後は、他のイベントとの共催や、報道機関等の後援などにより、一層の広報及び参加者の増加に努められたい。
3 くすりと健康フェスタ『ひとつの命を大切に2014』	(一社) 浜松市薬剤師会	【期間】11月9日 【場所】ソラモ 【概要】薬物乱用防止や健康に関する啓発イベントの実施、こども向けの調剤体験、薬と健康相談コーナーの開設、お薬手帳の啓発、飲料水の検査など 【参加】3,319人	1,509,533 [375,000]	3	A	A	A	○近年、青少年を中心に薬物の乱用が深刻化しており、危険ドラッグを使用したことによる交通事故などが社会的に大きな問題となっている。薬物根絶意識の醸成や薬物乱用防止を推進する機会として効果があつたものと認められる。 ○「お薬相談」「健康相談」「飲料水検査」など、健康に関する幅広い情報を発信でき、健康意識の向上や健康増進に効果が期待できる。 ○今回は3回目の採用となるが、薬物の乱用防止には地道な啓発活動が不可欠であり、今後も自主的に開催されることを期待する。
4 中区「動く戦国マップ」作成事業	TIME WALK	【期間】10月～3月 【概要】徳川家康公顕彰四百年祭にあたり、中区内の戦国史跡（浜松城、東照宮、椿姫観音、太刀洗の池など20箇所）のマップ及び動画を制作するもの（10,000部）。	2,688,072 [1,325,000]	1	B	B	C	○中区には、徳川家康公ゆかりの史跡が数多く存在するが、史跡にまつわる歴史や物語は知られていないことが多い。本事業では、全20の史跡について動画を制作し、スマートフォンやタブレット端末で見られるようにし、既存の観光マップとの差別化を図った点が評価できる。 ○動画は、スマートフォン等で「junaio（ジュナイオ）」アプリをダウンロード（無料）し、マップにかざすと、戦国武将や姫に扮した役者が現れて各史跡を紹介するもので、歴史を身近に感じられる内容となっている。 ○現在、中区の小中学校や公共施設等でマップを配布するほか、動画共有サイト「YOU TUBE（ユーチューブ）」で動画を配信するなど普及に努めているところであるが、今後も四百年祭の各種イベント等の機会を通じてさらなる活用がされることを期待する。
5 浜松多言語おもてなし会話帳作成事業	(一社) グローバル人財サポート浜松	【期間】11月～3月 【概要】外国人が買い物や食事をする際に店側との意思疎通を円滑に行うための指差し会話帳（英語、中国語、ポルトガル語、インドネシア語など8カ国語）の作成（4,000部）	1,244,585 [620,000]	1	A	B	A	○会話帳は、飲食店等の店員と外国人観光客が指を指しながら意思の疎通を図るもので、「食事編」と「買物編」の2種類を作成した。「何名様ですか?」「ご注文はお決まりですか?」「領収書は必要ですか?」など、来店から会計まで外国人観光客をもてなす際に必要な会話を厳選した。 ○作成にあたっては、市内に在住する外国人や飲食店等を対象に調査を行い、アレルギーの有無や宗教上の食事制限を尋ねる項目を設けるなどきめ細やかなものになった。 ○平成25年度に浜松市観光交流課が行った「外国人宿泊客数調査」では、135,783人の外国人が市内の施設に宿泊（対前年度比17,504人14.8%増）するなど、外国人観光客が増加するなか、時宜を得た事業で、今後、会話帳の需要は増大するものと見込まれる。現在、希望する店舗への配布を進めているところであるが、より積極的な活用を期待する。

■区民活動・文化振興事業

事業名	実施者	事業内容	市執行額 (円)	採用 回数	区実施の 妥当性	効果	経済性	評価
1 お楽しみ子ども演劇事業	中区 まちづくり推進課	【期間】10月～12月（うち練習10日、公演1日） 【場所】練習：曳馬協働センター、公演：クリエート浜松 【概要】公募による小中学生が、劇団員の演技指導を受け、演劇公演（演目：「ゆきと鬼んべ」）を行なう。 【参加】演劇出演者：中区内在住小・中学生16名、観劇者：353名（放課後児童会会員・一般入場者）	1,085,640	-	A	A	B	○公募した小中学生16人が10日間の長期にわたる演技指導を受け、その成果を12月24日にクリエート浜松のホールで披露した。演技指導や公演を通じて、舞台のすばらしさを体感し、協調性や物語を作り上げていく喜びを味わうことができ、文化的・創造的な人材育成を図ることができた。 ○観客の子どもたちも、自分と同じ小中学生の演技に感動し、演劇に対する関心を深めているように見受けられ、多くの子どもたちの感受性を育むことができた。
2 人形劇を活用した子ども育成事業	中区 まちづくり推進課	【場所】東部・南部・中部協働センター 【期間】東部：9/16、南部：9/24、中部：11/10 【概要】浜松市人形劇協会による、乳幼児向けの人形劇鑑賞及び人形劇制作講座「はじめての人形劇」の開催（各会場1回） 【参加】計104人（東部50人、南部26人、中部28人）	96,560	-	A	A	A	○第1部では「人形劇をみよう」として短く分かりやすい人形劇を親子で鑑賞し、第2部では「いもむしくんを作って遊ぼう」として親子で人形を作り、人形劇の操作を体験していただいた。 ○普段見ることができない生の人形劇を間近で子どもたちが鑑賞することで、心豊かな人格形成に寄与することができた。 ○希望者には託児を実施し、保護者が気軽に参加できる環境を整えることで、予定（100人）を上回る104人の親子に参加いただくことができた。
3 中区、みんなでラジオ体操～たった3分で元気復活！～	中区 健康づくり課	【期間】2月21日 【場所】アクトシティ浜松研修交流センター 【概要】ラジオ体操のスペシャリストの講師を招き、健康づくりに関心のある区民を対象にラジオ体操の意義・効果についての講話と実演指導を行う講演会を開催 【参加】125人	465,024	-	A	A	B	○近年、総合的な運動が気軽にできるとしてラジオ体操が注目されている。ラジオ体操には、3分15秒程度という短い時間に13種類のエクササイズが組み込まれ、有酸素運動、筋トレ、ストレッチ、バランス運動の効果があり、ラジオ体操人口は3千万人ともいわれる。 ○NHKのラジオ体操指導員・多胡肇氏を講師に招き、125人がラジオ体操の動作のポイントなどの解説を受けながら実演指導を受けた。これにより、区民の健康増進と健康づくりの意識向上を図ることができた。
4 親子家康勉強会	中区 区振興課	【期間】10月25日 【概要】「家康楽市」の開催に合わせ、親子家康勉強会を開催 ①親子を20組を対象にした家康公勉強会（浜松城・東照宮のガイドウォーク及び家康公に関する検定） ②家康公検定（①のうち検定のみ） 【参加】263人（①63人、②200人）	500,000	-	B	A	B	○中区には、徳川家康公ゆかりの史跡や地名、伝説などが数多く残されていることから、平成27年の「徳川家康公顕彰四百年記念事業」のイベントとして開催したもので、小学生とその保護者に、家康公の偉業についてより深く知ってもらうことで、中区への愛着や誇りを醸成し、顕彰四百年に向けた機運を高めることができた。 ○ガイドウォークでは、浜松城及び東照宮を巡りながら浜松観光ボランティアガイドの会からそれぞれの歴史について解説を聞き、普段、訪れる機会が少ない小学生も関心を高めた様子であった。 ○区内で最大級のイベントである「家康楽市in浜松出世城」と協働して行うことで、多くの小学生に参加してもらうことができ、保護者にも「飲食以外に子どもが参加できるイベントがあっよかった」など好評であった。

■区課題解決事業

事業名	実施者	事業内容	市執行額 (円)	採用 回数	区実施の 妥当性	効果	経済性	評価
1 中区DEキッズ スタンプラリー	中区 区振興課	【期間】8月1日～8月20日 【概要】小学生を対象に、中区の18施設（浜松市役所、区内6図書館、浜松城、楽器博物館、博物館、美術館、科学館、こども館、北部水泳場、賀茂真淵記念館、木下恵介記念館、文芸館、復興記念館）を巡るスタンプラリーを実施。集めたポイント数に応じた記念品を抽選により贈呈 【参加】214人（応募者）	483,840	-	A	B	B	○最少で4施設を巡れば応募ができるようにしたことで、多くの小学生に参加してもらうことができた。 ○全18施設のスタンプを集めた小学生も62人に及び、普段訪れる機会が少ない施設についても認知度の向上を図ることができた。 ○他のイベント（遠州鉄道「キッズ★クイズアドベンチャー」、浜松まちなかにぎわい協議会「キッズまちなか探検隊」と協働することで、パンフレットの制作費等を抑えることができた。
2 市街地交通事故ストップ 作戦	中区 まちづくり推進課	【期間】10月～1月 【概要】中区内の交通事故多発交差点5箇所（伝馬町・成子・砂山東・新津町・板屋町）について、原因を調査・分析し、紹介するセーフティマップ「浜松市中区交通安全の手引き」の作成（5,000部）	2,878,200	-	A	A	B	○中区は交通量が多く、交通事故の件数が市内ワーストであり、交通事故防止や飲酒運転撲滅が課題となっている。本事業は事故の約半数を占める交差点での事故の防止に重点を置き、事故多発交差点5箇所での特徴的な事故の事例や原因を調査・分析し、危険防止のためのポイントを資料にまとめた。 ○マップの作成にあたっては調査・分析結果を受け、表面に5箇所の交差点の特徴的な事故の事例や事故予防のためのポイントを掲載した。また、裏面には、5箇所の事故多発交差点及び平成26年度に改良を行った2箇所の交差点（中沢町・市役所前）を地図上に示し、交差点の現況や特徴、改良ポイントを紹介する内容とした。 ○同時に交通事故防止をPRする展示パネル5種を作成し、交通安全教室等のイベントで活用している。 ○現在マップは、交通安全教室や協働センターまつりなどのイベントで配布を進めているところであるが、在庫の状況によっては増刷も検討し、一層の活用に努めたい。
3 地域活動団体情報発信事業	中区 区振興課	【期間】11月～3月 【概要】地域コミュニティは、地域で活躍する様々な団体の活動に支えられているが、その活動状況は地域住民に十分に理解されているとはいえない。そこで、「富塚・西和まちづくり推進協議会」と協働し、富塚・西和地区の自治会や地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、消防団などの活動の様子や関係者へのインタビューを収録したDVD（120枚）及びリーフレット（10,000枚×4種）を制作し、その活動内容を発信	918,000	-	A	A	A	○制作したDVD及びリーフレットは、市内の自治会、協働センターに配布して、住民が集まる機会に上映するほか、今後、希望者への貸し出しを行うことで、各種団体の活動を広く住民に周知することができる。また、地域住民には各種団体の活動の重要性を再認識し、地域活動への参加意欲の醸成が期待できる。 ○浜松市では、平成25年度から協働センターに「コミュニティ担当職員」を配置し、市民協働やコミュニティづくりについての啓発や相談など、自治会、NPOなどの地域団体の活動を支援しているところである。作成したDVDは、担当職員の研修等にも活用するため、担当職員の地域活動に対する理解を深め、住民主体のまちづくりのためのサポート機能の強化が期待できる。